

板野中学校 同和教育だより

MY SKY No. 3



2000年5月16日(毎月第1・第3火曜日)発行

発行者

編集・文責
駐吉成正士
雕次本知己

昨夜の9時からあったスーパーテレビ「両足のないお母さん 奇跡の子育て奮闘記」を見た?なんか、ぐいぐい引き込まれてしまいました……。

見ていない人のために、簡単に説明をします。彼女は、生まれながらに「仙骨形成不全」といって、背骨の一番下の骨が発育せず、足が伸びない病気だったそうです。わずかに残っていた足を1歳の時に切り取り、それからは手で歩く学生生活を送り、大学まで進んだそうです。

彼女は番組取材の最初に「明るく楽しい番組にしてほしい」「結婚して子どもを産んだ、一人の女性としてみてほしい」「同情や哀れみはいらない」と取材者に告げたと言います。他にも私の心に残った言葉があります。それは「最低なヤツらだ!」という言葉でした。親子3人でスーパーマーケットに行った時に、町の人間から投げかけられた言葉です。それが、親子に向けられたものなのか、それを興味本位のように取材している日本人取材者に向けられたものなのかは分からなかったですが、後の方であると信じたいものです。

番組の最後に、取材の後、彼女たちから送られてきた手紙とビデオが紹介されました。それは、「スケートボードに乗っている私を、お父さんと同じように2歳の子どもが私の手を引いて歩くようになりました」というものでした。子どもの力って凄いものですね。というか、これが人間の本当の力なんでしょうね。「違うことが普通のこと」っていうのが、本当は当たり前なんでしょうね。番組を見ていて私はそう思いました。

ところで「原田大助作品展」、行ってきましたよ。なんかホロッときたり、「そうそう!」と思ったり、そんなことばかりでした。心がほんわかになりました。ちょうど人権部のみんなとも一緒に、ワイワイガヤガヤ楽しかったですよ。

さてさて、えらく前置きが長くなりましたが、これからが本題のはじまり!はじまり~!



わたし どうわきょういくだん どうきょうだん
◇私たちが同和教育団「同教団」です。PART II

「サッカーの試合から」

どうわきょういくたんとう
同和教育担当 つぎもと 次本 ともき
じゆ

先週の土曜日、サッカーJリーグ、京都パープルサンガVSヴィッセル神戸の試合を見に行ってきました。サンガのゴールキーパー松永^{まつながしげたか}成立に男のロマンを感じてやまない私は、家族とともにサンガのサポーター側に座りました。そこでいがっていがっていがりまくって応援したかったんですが、1勝10敗で最下位をひた走るふがいないチームに抗議^{こうぎ}すべく、サポーターたちは歌わざ声を出さず立って腕組み^{うで}しましたまま、じっと試合の流れを見つめているだけで、こちらも声を出すことができませんでした。せっかく徳島から来たのによーつ、ストレスたまるでえーつ。

後半6分に神戸にゴールを決められ1-2。攻められっぱなしの京都に逆転する力はないだろうと早々にあきらめかけていたところ、急に天候が怪しくなり、雷鳴^{らいめい}がとどろきだしてきたあたりから、徐々に主導権^{じょうじょ}を握りはじめ、後半12分にカズ(三浦知良)^{みうら ちよし}のJリーグ通算100点目となる同点ゴール! そしたらもう押せ押せムード。サポーターが声をあげる始める。そして、雷雨^{らいう}(ひょうもまじる!)の中のロストタイム、101点目となるカズの逆転ゴール! スタジアムは歓喜の渦^{うず}!! そして試合終了のホイッスルが鳴り響くと、サポーターとともに狂喜している私がそこにいました。来てよかったですーつ! もう最高ーつ!!

雨宿り^{あまやどり}しているうちに興奮状^{こうふんじょうたい}態がさめてくると、いろいろと考えられるようになってきました。人間で勝手だねえ~って。そう思いません? たとえば、チームが負け続けているときは選手に応援^{おうえん}の代わりに罵声^{ばせい}を浴びせているのに、勝てば賞賛^{しょうさん}の嵐^{あらし}。応援するチームの選手がイエローカードをもらえば、それを出した主審^{しゅしん}を非難^{ひなん}し、相手チームの選手がもらうと、拍手^{はくしゅ}をもって主審^{しゅしん}を讃美^{ほめたたけ}される。そのチームが好きだからこそ、愛しているからこそだといえばそうなんでしょうけどね。人間だれしも、そんなもんなんでしょうね。でも、何かおかしくありません?

4月のPTA授業参観のあと1年生の学年部会で、私の息子の成立^{しげたつ}(もちろん松永選手から名前をいただきました)が生まれてきたときの話をしました。難産^{なんさん}で、うちのかみさんがいきむたびに、成立の心音^{しんおん}が弱々しくなってきたこと。この子は生まれる前



に死んでしまうんじゃないかなって、もう不安で不安でたまらなかつたこと。やがて、「オギヤーツ」っていうこえが聞こえた瞬間^{しゅんかん}、もう、涙があふれてあふれて仕方がな^{しかた}かったこと。緊張感^{きんちょうかん}から解放され、喜びに包まれたあの時のことを今もはっきりと覚えているということ。そして我が子との対面^{ごたいめん}で満足でよかったですって本当に思ったこと。この話をしたときにある教師から、五体満足でよかったですと思うことは、五体満足でなく障害を持って生まれてくることをマイナスにとらえており、そのことは、「障害」者をマイナスにとらえる意識につながると指摘^{してき}されたこと。そして、話のあと保護者の方から、「親ならみんなそう願い、そう思うんじゃないですか?」という発言がありました。その通りです。親が健康で五体満足な子どもの誕生^{たんじょう}を喜ぶことは当たり前なんですね。

でも、サッカーの応援をするにしても、子どもの誕生を喜ぶにしても、その意識の裏に潜む差別性^{ひきず}を、私たちははっきりと気づいていかなければならぬんではないでしょうか。差別意識が存在する以上、理性の歯止め^{りせい}が利かなくなつたとき、人を傷つけ差別する危険性^{にんしき}があることをしっかりと認識^{してき}する必要があるのではないでしょうか。サッカーフの試合がもとで、人が殺されたり戦争が起つたりしたことだってあるんです。

私たちはおりにふれて自分自身を見つめ、自分自身に問いかけていく必要があると思います。「何で?」って。「それでいいのか?」って。また、自分では気づかないことを、話し合っているときや相手から指摘^{してき}されることで気づくことがあります。そのためにも、いろんな人との交流を求めていく必要があります。学校においては、生活ノートや道徳・同和問題学習、全体学習のみならずすべての活動が、これらのことに関係しているのではないでしょうか。とにかく、いい生き方を求めていきたいものです。



◇「学習会解放子ども会」って何?

「学習会解放子ども会」について書こうと思っていたのですが、スペースがたりなくなつてしましました。スミマセン! みなさんに知っておいてほしいので、この際少しだけ書いておきます。

学習会ではいろんな活動を行っています。教科学習。地域活動として部落問題学習。仲間づくりのためのレクリエーションやいろんな行事。でもこれらは、あくまでも板野中学校だけのものなんですね。「解放子ども会」は、中学校だけじゃなくって、小学生や高校生、差

別をなくすためにがんばっている若者や大人も一緒に活動しています。いろんな人がたくさんいて楽しそうでしょう！

昔は当たり前のように、こんな関係がそれぞれの地域であったんだと思います。私も、近所の兄ちゃん、姉ちゃん、年下の子たちとよく一緒に遊んだものです。でも、今はめっきり聞かなくなりました……寂しいことです。でも、それを「時代の流れ」として放っておくわけにはいきません。やっぱり大事なものでもん！そこで作られたのが、この会なんです。学習会の仲間、差別をなくしていくこうとする仲間を、歳の差を越えてつなげていこうというのもなんです。なんと素晴らしい!! 15日にも、この解放子ども会がありました。とりあえず自己紹介からスタートしたのですが、24日には東小学校の学習会で、来月6月5日には南小学校の学習会で、同じような解放子ども会が行われます。ぜひ、中学校の学習会のみなさんも、お兄ちゃん、お姉ちゃんとして小学校のみなさんと仲良くなつていってください。同教団の私たちも一緒に行きますので！



最近、暑かったり、寒かったり、ほんと大変ですね。体調崩さないように自己管理してくださいね。

ところでこの土曜日(20日)、毎年恒例になりました(1年生には初めてですが)学習会中学生集会の実行委員会が同対センターで行われます。これは、8月3日の大会本番(郷土文化会館)をひかえて、その前の1学期に4回、県内の学習会に通っている中学生が集い、交流を深めながら部落差別をなくしていくということを共に考えていくという会です。第1回は毎年かなりたくさんの仲間が集まります。学習会のみなさんも、是非友達と誘い合って参加しましょう! 参加希望者は、担任の先生か同教団の先生へ相談に来てください。またすみませんが、部活動の先生方も都合が悪くなれば、是非子どもたちを送り出してください。よろしくお願いします。当日の日程などは次の通りです。

日 程	13:00 板野中学校 大会議室 集合
	13:30 板野中学校 出発
	14:30 第1回実行委員会(16:30終了予定)
	17:30 板野中学校 帰校
交 通	学校で手配します
服 装	制服
持ち物	特になし
	メモ : 前日(19日)

《 MY SKY No.3 》

それともう一つ。来週の月曜日には、「狭山事件」県内集会がやはり同対センターで開かれます。「狭山事件」といっても分からぬかな?

もう30年以上も前になるのですが、女子高生が殺され、自白のもとその犯人として被差別部落の石川一雄さんが逮捕されたという事件です。しかし石川青年は「自白はうそだ!私は殺していない!」と訴え、それに基づいて犯人ではないといった事実が次々に明らかになってきました。この話については詳しくみなさんに伝えなければいけないし、伝わることで、みなさんもすごく勉強になると思うのですが、紙面の関係で十分伝えることができません。

また別の機会に詳しく報告しますね。(職員室の後ろにマンガも置いてあります)

その裁判が行われるよう訴えようという目的で行われるのが、この県内集会なのです。中学生にはちょっと難しいかもしれません、雰囲気を味わう意味でも参加してみませんか?希望者は同教団に申し込みに来てくださいね。詳しくは次の通りです。

日 程	17:00 板野中学校 出発
	18:00 県内集会(19:00終了予定)
	20:00 板野中学校 帰校
交 通	学校で手配します
服 裝	何でも構いません
持ち物	特になし メカ : 20日

◊ これから日程 ◊ ◊ ◊ ★ ☆☆ ★★★ ☆☆☆☆ ★★★ ☆☆ ★

- 5月20日(土) 第5回部落解放徳島県学習会中学生集会第1回実行委員会(14:00~;同対センター)→学習会の希望者はみんなで行くぞ!
22日(月) 「狭山事件」県内集会(18:00~;同対センター)→希望者は全員行くぞ!
23日(火) 板中体育祭
24日(水) 板野東小・学習会解放子ども会(15:40~;東公会堂)→中学生もお兄さん・おねえさんとして行く?
29日(月)・30日(火) 中間テスト
- 6月3日(土) 第5回部落解放徳島県学習会中学生集会第2回実行委員会(14:00~;同対センター)→学習会の希望者はみんなで行くぞ!
5日(月) 板野南小・学習会解放子ども会(15:30~;東公会堂)→中学生もお兄さん・おねえさんとして行く?